

FUKUSHIMA J C NEWS

1963 8



福島青年会議所 創刊号によせて

福島市長 佐藤 実

本市実業界の若いホープとして清新發刺たる意気と理想をもって、おのおのの立場において、活躍されている皆さんがこのたび、お互の品性を高めると共に、友情を深め、自らの手に汗して自己研修につとめる場として、福島青年会議所を創設されて、市民生活の向上を図り、社会環境、福祉の発展に努力し、住みよい近代都市づくりに発足されましたことは誠に意義深いものが、あることと存じます。

政治も文化も結局は人類の幸福と繁栄が目的であり、明るい、豊かな、住みよい地域社会を完成することにあると云っても過言でないと思いますが、先進大都市の経済の著しい成長は地方都市の産業人口を吸収するばかりでなく、その産業所得格差は益々拡大している現状でありまして、大きな社会問題となり、これが是正のために各般にわたって改善のための政策が実施されましたことはご承知の通りであり、わが福島市政もこの地域社会の後進性を払拭して市民の福祉向上を図るために、県北における産業経済、文化の中心地たる本市が、県都にふさわしい近代都市として飛躍の進展を念願し臨海都市との連携のもとに大福島市建設に重点を置き国道4号13号線を始め本市を中心とする浜通り、会津方面に通ずる国道等の近代的道路の改善整備を推進し、更に産業高速道路の開設、工場誘致等を促進して町村の合併等に努力しておりますとき、ここに本会議所が誕生しましたことは誠に慶祝に堪えず、将来、輝かしい発展をとげて、逞しい成人となりますよう心からお祈り申し上げます。

由来創業は易く之を継続守業は難しといわれております。会員皆さんの協力一致初心貫徹に邁進して本市発展に寄与されますよう切望して創刊をお慶び申し上げます。



祝 辞

福島商工会議所
会 頭 須 藤 仁 郎

本日、春秋に富む青年経済人諸君70余氏が結集されて福島青年会議所が設立されましたことは、私の衷心より慶びとするところであります。

今まで全国には200有余の青年会議所が、およそ12,000名の会員を擁して明るい豊かな国造りに献身されており、また県内の主要都市においても活躍されているとき、当福島にはその存在をみなかったことに疑問を抱いておったのでありますが、幸い本年初頭に至り設立の気運が生れ、以来約半歳の短い月日の間に、全国に誇り得べき組織と実力をもつて、誕生されましたことに対し深い敬意を表する次第であります。

わが国経済の現状は経済白書でいわれておりますように、戦後18年を経た今日ほぼ先進国の経済規模に近づいたところであります。貿易自由化の進展、近い将来の国際通貨基金8条国移行や経済協力開発機構への加盟などで、いよいよ新しい開放体制へ入り今後、新しい環境のもとでの発展をはかるには、高成長とともに高成長の不均衡を是正する高福祉が要請されるとき若い諸君に期待するところきわめて大なるものがあり、青年会議所設立の意義もまた大きいものと存じます。

私ども商工会議所としてバックアップを惜しまない所存であります。諸君におかれては、本日の設立を機に選ばれた若い経済人としての自負をもって常に広い視野の上にたち、青年会議所の理想像をえがいて邁進され、個人の修練と地域社会の発展という所期の目的を充分達成されますようご期待申し上げ簡単ではございますが、お祝いのことばといたします。

J C に何を期待するか? 《アンケート》

県社会福祉協議会 佐々木 好也

1. 青年会議所の性格、目的、会員の資格など明示し、むしろ広範囲よりの参加を得ること。
2. J Cには社会奉仕活動(特に民間の善意による福祉活動)をとりあげたい。
3. 会員の連絡、親睦をはかる行事をとりあげそのPRを実施すること。

宮村 義一

1. 常に理想と希望を
2. たゆまざる研鑽と努力を
3. 豊かな実行力を

日本銀行福島支店長 坂上 静弘

1. 福島県財界の次代を担うべき選ばれた人々の集りであることを意識し、大いに矜持をもって、経営者精神の昂揚を図ってほしい。
2. 「一業界」「一福島市」の利害にとらわれず、より大きく、より自由な立場から、小異を捨てて大同につく気運の芽を県財界に植えつけるよう努力してほしい。
3. 青年会議所を単なる社交機関に終らせることのないよう、先ず手近な問題から実践運動に手をつけられてはどうか。

福島県婦人団体連合会長 菅野 八千代

- ◇ 青年会議所の発足は他都市よりおくれであり福島はどうしたのかと思っておりましたが、今回の発足はそれだけにすばらしいものになることと、大いに期待しております。

1. 奉仕の精神をわすれず福島の産業経済の安定と発展を期待してやみません。
2. 若さの実行力をもって社会を健康なものにするように、青年のよき集団になって頂きたいと思ひます。

福島商店街連合会役員 山田 広助

1. 時代は孤立して仕事することを許さない。社会に意義深い仕事を成すには協力と刺戟が必要である。この協力・協調と刺戟を求めて時代を作る母体に青年会議所はなるであろう。
2. 貿易自由化を迎えて海外の新商品が私共の市場に流れ込んでくるが、商品と共に夫々の国の思想が流れ込むことを見逃がすことなく経済活動をなすべきである。

菅野 光弥

- ◇ 先ず、心からおめでと申しあげます。日本の高度な経済成長は、世界の驚異的となつていますがこの高い経済成長を支えているのは若い人々のたゆまぬ努力と情熱だと考えます。皆様も、その一翼になわれて、更に大きな飛躍を遂げられるよう期待申し上げます。

岩永 幾太郎

1. 大変良い事を企画されたものと喜んで居ます。私共は数年前から福島の将来の担う立派な青年実業家が数多く居る事を思い楽しみにして居たものです。
2. 然し難を言えば皆温室育ちです。親達の様に堪え難きに堪えいばらの道を切りひらいた人々とは幾分違つたところがあるかも知れません。夫は致し方無い事です。
3. 私の希う処は皆さんの競争相手を福島の友人の間に求めず、全日本及全世界の人々に之を求め俱に、相信し手を携えて社会の為に御働きの度いものです。私は医師の集り等にてよく「損は得也得は損也」と申します。医師の修業の第一は損をする事が気にならないようになる事であるとの意味です御玩味願ひます。

FUKUSHIMA J C NEWS

1963



理事長をお引うけして

矢 萩 信二郎

福島青年会議所がここに目度度く誕生いたし、その初代理事長を不肖私がお引受けすることになったことは、設立準備委員長として責任上やむを得ないことでありますが理事長の責任の重大なことを考えますとき、実のところ、今後どのように青年会議所を運営していくか迷っている次第であります。幸い青年会議所設立に何かとお知恵をおかし下さいました福島商工会議所須藤元頭及篠崎事務局長という立派な先輩を得ており、又このたびの福島青年会議所の設立に際しスポンサー J C となつて頂いた会津青年会議所、全国的にもその活躍振りで注目されております。郡山青年会議所などお手本となる良き先輩 J C を県内に持つておりますことは良き相談相手として心強く思っております。一日も早く先輩 J C にまさるともおとらない立派な青年会議所を造っていきたいと考えておる次第であります。

福島青年会議所も 7 1 名の良き友を得まして、日本 J C 綱領にありますように、

われわれ Jaycee は

社会的、国家的な責任を自覚し
志を同じうするもの相集い力を合せて
青年としての英知と勇氣と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

の高い理想のもとに福島市の若い経済人としての自覚と日本 J C の理念であります。奉仕・修練・友情を持って、立派な、青年会議所に作りあげ立派な J C マンだと皆様から云われるよう頑張ろうではありませんか！

先日の設立披露パーティーで知事さんの祝辞の中にもありましたように、福島県政の三本の柱であります。農業 県としての福島。新産都市の指定を受けました工業地帯としての福島、そして観光都市としての福島、この一本の柱であります観光都市としての福島の第一の問題は福島市と飯坂町との合併であります。福島市の将来が大きく進展するかどうか大切な問題であり、合併が観光都市福島推進の第一歩であります。この合併問題は是非共若き福島の経済人である青年会議所の皆さんにお願いしたいとまで云われましたことは、知事さんがわれわれに修練の場をさっそく与えて下さいましたことと思ひ、発足そうそう誠にありがたいことと感謝いたしますと共にますます大なる期待をかけられ益々責任を感じる次第です。福島 J C の皆さん、是非この期待にこたえようではありませんか。そして若い吾等のうたをたからかに歌おうではありませんか。



福島青年会議所の 発足を祝す

福島県知事 佐 藤 善一郎

福島の青年会議所が本日発会式をあげられたそうで、まことに目度度とうございます。

県都である福島の将来を担う若い実業家の方々が集って、一つの力に結集されたということは、福島地方だけではなく、福島県の発展のためにも大いに役立つことと、今後の皆さん方のご活躍を大いに期待しておるわけでございます。

さて、福島地方には直接に関係はございませんが、先般本県の常磐・郡山地区が全国 33 カ所の候補地中から選ばれ「新産業都市」指定地域に内定致しました。

この指定獲得につきましては、この指定にもれば本県は永遠に後進県として取残される問題だけに、県としても全力を挙げて努力致したわけでございますが、幸い関係市町村はじめ県民の皆さまの熱烈な御後援によつて、ようやく獲得できたわけで、ご協力に対して深く感謝致しております。

もともと常磐・郡山を結ぶ予定地区は、あらゆる条件を備えた最適地ではあり、わたしとしては指定獲得成功を全く疑わなかったわけでありましたが、他地区の激しい誘致工作などもあり、県としては絶えざる普段の努力の積み重ねによって本日の成果を得たわけでございます。今後も政府の定めるところに従つてプランを進め、本県の工業開発を大きく推し進める所存でございますので、よろしくご協力をお願い致します。

次に「新産業都市」についてわたくしが考えておりますのは「観光開発」であります。本県はご承知のように観光資源にまことに恵れております。ことにスカイライン、裏磐梯、猪苗代湖を結ぶ県北、会津地区は、今後の開発と設備充実によって、より多くの観光客を誘致できると考えております。

そこで、本日この席で福島の青年会議所の皆さんにお願い致したいことは、福島市と飯坂町との合併に、その推進力となって成功させていただきたい、その中心勢力となつていただきたい、ということでもあります。

飯坂温泉も、現在の飯坂であるにとどまらず大発展をするために、また福島市もより大きく伸びるために是非このことが必要だと思ひますので、以上お集りの皆さまにお願いを致しましてごあいさつと致します。

祝 福島青年会議所設立



東邦銀行

取締役頭取 須藤 仁 郎

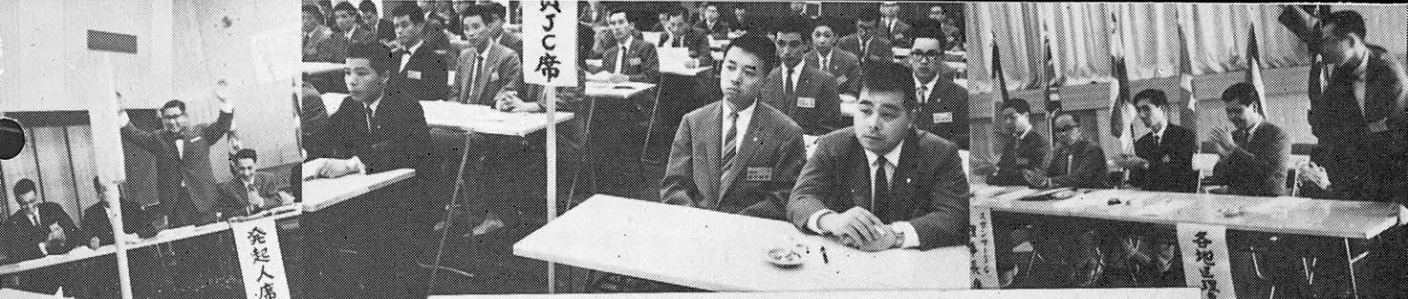
青年会議所設立総会



Fukushima JC

記念号

1963.8



福島JC設立準備経過報告

- 3月23日 第1回発起人会を開催
参加者 商工会議所篠崎専務理事、東海林課長
発起人 矢萩信二郎、宮村望、秋元純、八島永吉、穴戸真一、菅野浩和、小林忠道、安藤義光
- 4月5日 発起人会を設立、準備委員会とし委員長に矢萩氏。定款及び諸規定案を作る
- 4月13日 第2回準備委員会、定款及び諸規定を検討及び会員の選衡基準を作る
- 4月20日 第3回準備委員会、会員候補者を選ぶ
- 4月26日 第4回準備委員会、現在迄の経過を反省今後の具体的案を作る
- 5月10日 スポンサーJCをお願いする、若松JCに挨拶の為に訪若、矢萩、宮村、小林
- 5月10日 郡山JC 5月例会見学、矢萩、宮村、小林
- 5月14日 第5回準備委員会、若松、郡山の場合報告及び東北大会出席のため打合せ
- 5月18~19日 東北大会(秋田)参加矢萩、宮村、小林
- 5月25日 第6回準備委員会、東北地区会員大会報告
- 6月1日 入会申込書を発送
- 6月10日 入会申込締切、会員数71名
- 6月12日 第7回準備委員会
若松JC岸直前理事、菅井理事他4名及び郡山今泉専務理事他2名の参加を見、準備委員会としての最終的準備状況とする
- 6月13日 若松JC 6月例会見学参加、宮村、小林、安藤

- 6月22日 第1回会員集会、商工会館5階ホール
(1)設立経過報告
(2)JCの性格及び活動について
(3)定款の審議
(4)委員会活動について説明
- 6月28日 第8回準備委員会、グリーン民報
(1)会員懇親会について
(2)例会の会場決定
(3)創立総会までの準備
- 7月6日 第2回会員集会
予算の審議
設立総会の予定の説明及び審議
JC Song 指導練習
- 7月9日 第1回理事会
・創立総会準備
各委員会役割分担、総会次第
パーティー次第決定、例会日決定
- 7月11日~15日 各委員会開催
・創立総会準備
・各委員会例会日決定
・資格審議委員決定
- 7月19日 第2回理事会
・各委員長より今年度のテーマについて説明
・創立総会最終打合せ
- 7月27日 創立総会

- 奉仕委員会 毎月第3木曜日 午後12時 ヒロセアン
- 広報委員会 毎月第2木曜日 午後12時 ビーコック

《8月例会》

8月14日 午後6時 グリルミンポー
議題 (1) 創立総会報告
(2) 各委員会報告
(3) 協議連絡事項
ゲストスピーカー
福島県副知事 湊徹郎氏

《納涼家族大会》

日時 8月20日午後6時30分~8時30分
場所 矢萩理事長庭園
会費 会員 1,000 夫人 500
子供 300

なお当日各委員会において模擬店を出店いたしますので夕食ぬきでおいで下さい。

編集後記

紙面の大半が祝辞と挨拶になってしまい稍堅苦しい感じですが、創刊号なるが故、やむを得ないところでした。
次号から我々JCの活動やニュース、会員の投稿、日本JCのニュース等々掲載いたし紙面を賑々しくしたいと思います。
われらの三原則、修練、奉仕、友情の具現それを紙面にあらわしたものが、JCニュースです。会員諸氏の御協力と御叱正を願う次第です。

福島青年会議所会報創刊号

昭和38年8月14日

発行 福島青年会議所 (TEL 2-5412)

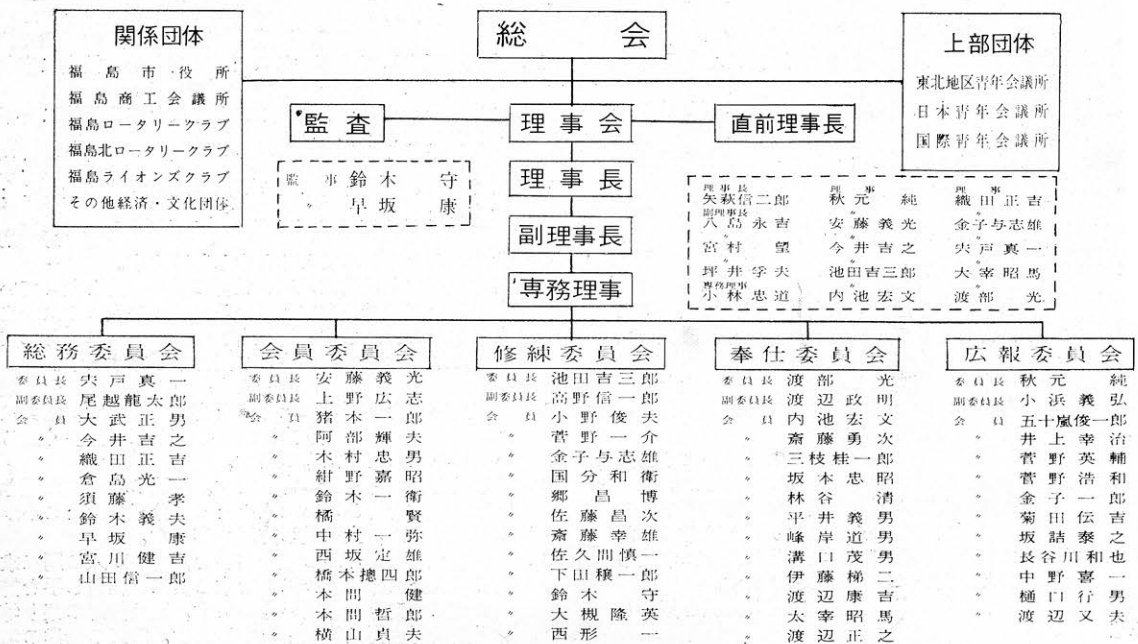
編集 秋元純

印刷 日本五色印刷株式会社

例会日

- 理事会 毎月第2火曜日 午後6時 グリル民報
- 会員月例会 毎月第2水曜日 午後6時 グリル民報
- 総務委員会 毎月第1水曜日 午後12時 中合
- 会員委員会 毎月第1木曜日 午後12時 辰巳屋
- 修練委員会 毎月第3火曜日 午後12時 ヒロセアン

福島青年会議所の機構



資格審議委員会 井上幸治・木村忠雄・佐藤昌次・山田信一郎 渡辺正之

FUKUSHIMA J C NEWS

1963 9

＝ 組織的活動の重要性 ＝

1963.8.14. P.M.6 8月例会 於 グリルミンボー

ゲストスピーカー 福島県副知事 湊 徹 郎 氏

第1回のゲストスピーカーとして湊副知事をお願いいたしました。湊氏は最近新産業都市の指定を受けた郡山常磐地区の話題に絡ませ、私の公職生活中の体験を2～3、岡目八目的に申し上げ度い。と挨拶。

昭和30年度を境として日本経済は高度に成長を遂げた。とは言うものの経済の底が浅い為に国際収支を梃子として兎角振り回されがちだったと言うのが実情であります。

我々は高度の経済成長率にのみこだわってはいけません。一番大事な事は「安定成長」の問題であり、つまりは景気の波の変化が少く確実に伸びて行く事である。ここで重要な問題と成って来るのは、産業構造の改善であり、農業構造の改善である。そして又、地域的な格差の是正である。

この命題の下に新産業都市の構想が浮び上がったのである。一体高開発地域と目される大都市に於

てすら、その内部には開発上の不均衡が見られる。いわんや地方と大都市ではその格差が大きいと言わねばならぬ。

本県では喜多方、二本松、白河が低開発地域の指定を受けているが、私としては福島市もこの指定を受け、中央との格差の是正を計り度く思った。

この格差の是正の問題は全国の低開発地域に共通する問題である。この格差是正の手段として新産業都市の計画が生れたのである。

一体これ迄の地域開発の方向は、殆どが大都市——それも東京とか大阪の様な中央部若しくは準中央部を頂点として、そこから地方へ及びて行くが如き、言ってみれば縦の系列に依っての開発が多かったと言える。成程、東京より水戸へ、水戸より平、平

より仙台と言った直線的な開発は多かったけれども、平と郡山、郡山と白河若しくは会津と言った横の連絡をとり合う開発の推し進め方は大変少かった、と言って良い。

然し中央と地方との格差の是正の問題から言って、これではいけない。

我々は横の開発を、更には低開発地域の県同志の連絡の下に、面としての開発を計らねばならない。



こうした問題や、考え方を踏まえて新産業都市は発足した。この様に社会は変革しつつあり、経済は進歩しつつある。であるから、我々行政に携わる者としては、今一度行政の在り方を反省せねばならない。法を中心とし、尺度として運用されて来たのが先来の行政である。然し変化し成長しつつある現下の社会や経済に今言った行政理念は通用しにくい。行政に係る者としては前向きの姿

勢であり度い、世の動きを上手くキャッチし実情に即応した行政をやって行き度い。

更に言える事は、行政に当って、個々の役所の部門が何の連絡もなく政治を行うと言う事は、立派な行政を行える所以のものではない。横の連絡をとった、組織的な活動——これが、重要な事であると思う、斯うしてこそ、世の動きを捕え、生きた政治となって成果が上って来るのである。私は今度の新産都市の指定の運動を通じて、十分にこの事を痛感した。

この組織的な活動の重要性は単に我々の問題でなく貴方達青年会議所の今後の活動のあり方についても十分に同じ事が言えると思う。

(文責・井上)

家族大会アルバム

福島J Cが誕生して初めての野外パーティーが8月20日6時半から矢萩君宅に於いて行われた。色とりどりのとうろを眼下にながめ、安藤君の名司会により、なごやかな家庭的なふんいきのうちに進められ予定どおり8時半に無事終った。出席数は、会員53名、夫人38名、子供45名。

なお、失礼ながら紙面をおかりして矢萩君ならびに御家族に御礼申し上げます。

福島 J C

子供はねむくなる頃、大人は元気の出る頃



理事長挨拶よりはじまる。レディーの前で深刻な顔



奥様方々まづ、淑女の如く



サービスとは、模範演技……常日頃の罪ほろぼしか



まだ子供の時間です。広報委員のホットドックとダンゴ



まづ試食？係員の喫した方が多かったそう



J C牧場の射撃大会、1位三役、最下位総務



そろそろ暗くなってきました。まづJ Cソング



三葉軒（三役）のトコロテンがなぜ売れ行きが悪かったか？未解決のままです。解答をお寄せ下さい



がちりいこうぜ！



東邦銀行

取締役頭取 須藤 仁郎

福島愛育園へ

無料健康診断の実施

奉仕委員会

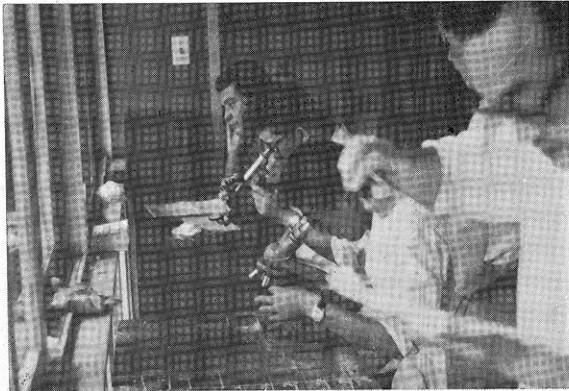
8月25日昨夜来の雨もからりと晴れて吹き去る風も、初秋らしいその日の朝9時、小林専務理事の参加を得た奉仕委員会は、渡部委員長以下11名福島市舟場町渡辺小児科医院へ集結した。

皆今日の仕事に心から奉仕しようとする意欲を全身にみなぎらせていることを容易にうかがいとれる表情である。

会員提供の4台の車に分乗、定刻福島愛育園へ向けて出発した。国道を折れて愈々目的地に近づけば、聞きしにまさる悪路の連続である。あたかも奉仕への信念がその道を突走った感である。

愛育園は園児70名、幼児から満18才迄の児童を容し、此の日は、1名が入院中の事として69名全員が参加した。特に同園では罹病した場合は、予算から加療費の支出が出来ても一般的健康診断を行う費用は皆無で、今日迄園児の血液型判定も行われていない現情だけに、園長宮崎義宜氏並に、職員の方々は我々の到着を心から待っていて頂いた様である。

早速渡部(光)君、渡辺(正)君、太宰君、伊藤君、坂本君の五医師を中心として、健康診断血液型判定、虫卵検査を実施して



別表の結果をまとめ、宮崎園長に報告を済ませ意義ある行事を終了した。

尚本事業のため休日を返上して参加応援を頂いた、渡辺小児科医院菅野満君、日赤病院佐藤敏君、桜ヶ丘病院高橋朋子さんに厚く感謝申し上げます。

血液型判定結果

対象	園児 69名	職員 10名
園児	A型 28名	B型 20名
	AB型 7名	O型 14名
職員	A型 5名	B型 3名
	AB型 1名	O型 1名

園児男女別結果

	男	女	計
A型	20名	8名	28名
B型	9名	11名	20名
AB型	5名	2名	7名
O型	8名	6名	14名

虫卵検査結果

対象	64名
蛔虫卵の発見された者	2名

健康診断結果

対象	69名
結膜炎	8名
心臓及び貧血の精密検診を要する者	3名

JCに何を期待するか? 《アンケート(2)》

亀岡 高夫

一国の産業経済発展の要素には政治行政の占める割合も少くない。したがって堅実な企業の伸長には正しい姿勢の政治行政が要求されるのであるから、企業者は政治行政の姿を監視するとともに、その育成と協力に力をおしんではならない。荷馬車の両輪のごとき双方の関係を、若い英知と、若い行動力で解決してこそ明日の繁栄も約束される。

青年の知性と情熱のみが、その解決を容易にするという認識を一層深めたい。

長谷川 幸太郎

1. 純情と良識に信頼

福島青年会議所の定則的目標を指して、新しい産業社会体制への責任を果たすであろうことを期待する。今日の企業者や経営者に希求される責任は大きい、就中、青年に、その比重がかかっている。

2. 労使関係のために

この社会に労働をめぐる問題がおこったのは久しい、それから今日まで労使間の紛争は絶えたことがない。

今後ますます争議が多くなり複雑になってこよう。

ことに最近の著しい傾向は、中小企業と零細企業(家族従業員もふくむ特異性)の雇用関係と生活環境のなかにも労使の問題が浸透してきた。

このことへの対処に、じっくりと取り組んでほしい。

3. 手近かなことから

いろいろあるが、まづこんなところからでは如何——。

1. 道路に自転車等置き方の指導

都市計画未完成のせまい道路の両側に自転車のある風景は雑然、さなきだにせまい道路の巾員を一層せまくして道の利用価値を減らしている。道に自転車等を置く場合の整理指導などは如何。

2. 街をきれいにする

言うはやすく行方は難い、これを提唱して実践。

3. 公明選挙に協力

関係方面と連携を保って——青年なればこそその活動部門は多くあろう。

4. 農村青年との交歓など

都市と農村地域の盛衰は相対的なもの、調和のとれた田園都市づくりのため、その他いろいろ指向して交歓協力してほしい。

5. 政治の勉強

政治と経済は相対性原理に基く不可分のものである。政治を政治家のみにまかせたり、その良否を一部人だけの批判にだけゆだねるものではない。みんなが全部が政治の主体として政治に関心をもつべきである。まして産業経済人においてをやだ、こうした意味で新しく正しい政治の見方、考えかたを勉強してほしい。

6. 零細企業の実態と消費者の関連

このままでは零細な商工業はますます谷間に陥入るばかりである。この経営実態を地道ちに調査し、かつこの企業をめぐる消費者層を調べてはどうか。

委員会報告

＝ 総 務 ＝

日 時 昭和38年8月7日 P.M.12.00
場 所 中合スペシャルルーム

出席人員 小林専務理事出席
実戸、尾越、今井、早坂、山田
須藤、鈴木、オブザーバー安藤

議案1. 会員資格単位について

実戸委員長より議案説明後、郡山J.Cの例を参考として討議に入り、結局、福島J.Cとしては自地区の例会、委員会を最重要と考えるとの結論に達し右の様に原案を決定した。

議案2. ペナルティーについて

議論は百出したが結局は遅刻、早退者に1回に付金100円也のペナルティーを課す事に決定。容器は会場に備え付け、ペナルティーを課せられた者は自ら提出する事。

議案3. 郡山例会出席の件について

上記に付て希望者を募ったところ、実戸委員長、尾越、山田、鈴木各君が希望し8月10日午後5時出発と云う事に決定。なお、小林専務理事より、特に矢萩理事長より乗用車の提供を考慮する旨の申出があり、有難くお受けした。

以上3議案審議終了し P.M.1.30散会。

郡山J.C 8月例会見学

総務委員会

日 時 8月10日(土)
P.M.6.30～9.00

場 所 郡山東邦銀行支店ホール
出席人員 実戸、尾越、山田、鈴木
8月総務委員会にての決定にもつき、8月10日午後5時10分出発(矢萩理事長より乗用車提供をうける)郡山着6時
会場に至って郡山J.C役員に挨拶、総務委員席に案内される。前以て連絡をしていたためか、8月号のJ.Cニュースに記事があり、実戸委員長の挨拶までであるのには一

同驚いた。
J.Cソングの後、各委員長の報告事項、海外派遣者の報告と続き、続いて実戸委員長より福島J.Cの設立県についての挨拶、更に会員3人の自己紹介が終了、本日のゲストスピーカー 読売新聞瀧美俊一経済記者の「流通革命下における経営戦略」なる講義を約1時間半聞き、午後9時すぎ郡山出発、午後10時近く帰福した。
印象、感想等は今回は省略し、報告のみに止めます。

＝ お 知 ら せ ＝

＜9月例会＞

日 時 9月11日(水) 午後6時
場 所 グリル民報
ゲストスピーカー
日銀福島支店長 坂上 静 弘

＜ゴルフ大会＞

日 時 9月15日(日)
場 所 田沢民報コース
スタート 8時30分
会 費 1,500円(予定)
その他 各自負担

グリーンフィ }
キャデフィ } 等
昼食費 }

＜釣大会＞

日 時 9月22日(日)
場 所 上山口沼
会 費 500円
(バス代、エサ代、沼代等)
◎尚釣竿、ウキ、エサ等一揃1,000円で御斡旋申し上げます。

【 会 員 消 息 】

大武正男君(総務委員)のお父さん9月2日逝去された。

会員資格単位について

役員最低取得単位 20単位
会員最低取得単位 10単位
(5単位未満退会勧告)

基本単位 備 考
各月例会 1回1単位 年12回開催予定
委員会出席 1回1単位 年12回開催予定
委員会主催行事に出席 1回1単位
理事会に出席

1回1単位 年12回開催予定
他J.C例会に出席 1回1単位
他J.C行事に出席
1回2単位 認証式、記念式典等

東北地区協議会出席
1回2単位 年6回開催予定
東北地区J.C行事に参加
1回2単位 セミ、野球大会等

東北地区会員大会出席
1回3単位 年1回開催
日本J.C総会出席 1回5単位
日本J.C行事に参加
1回3単位 セミ、その他

日本J.C会員大会に出席 1回5単位
J.CI世界会議に出席 1回10単位
但し他J.C例会に出J.Cよりの委嘱にて出席する場合は1回2単位とする。

グリーン

グリーンという標
題に因んで福島J.C
ゴルフ6傑を御紹介
する。

特に来る15日開かれる第1回理事長杯
争奪戦を控えて、とくと、御熱説ありたい。

馬 名 既 舎 寸 評 予 想

レース中、にぎやかなこと有名。造
ゴールインする迄
成績が皆目見当が
つかず、予想屋泣
かせ、芝の馬場よ
り赤土の方を好む

スタート台に上る
とき、プルプル
と巨体をふるの
が特徴、時にへば
つてくると巨体を
あおむけにして倒
れたりする馬丁
(キャデイ)にやま
しいことでも名高
い

ミ ソ ク 調教稍不
充分か?

(宮村既舎)

純血サラブ、偉大
なオビツプからで
る長打巧技はさす
が本命の名に相応
しい。レース前日
迄の1週間の(夜)
の調教に乱れなけ
れば優勝は固い

プレスミンボー 本 命

(秋元既舎)

スタミナメン スンナリ

(池田既舎) ゆけば

理論派の騎将、最
近は復調著しいが
それでも未だに理
論に技の方がつい
てゆかない特に賞
金が多いと走る勝
負師

タカオ 対 抗

(坪井既舎)

オスマルジョー 大 穴

(小林既舎) 名、かつこのい
一語につき。イン
ドアの教訓向き
なれど、どこまで

＜こぼれ話＞

- 1)理事長パーティーの際、なれぬ手つき
でところろ天を押す理事長を見て理事長
の御息「お父さんの働くの始めて
見た」は手きびしい。
- 2)その当日の福島市内のバー、キャバレ
ー等はまことに閑散、家族同伴の効果
テキキ
- 3)奉仕委員会の愛育園奉仕は非常に好評
だったが帰道、悪路に落ちこんで渡
辺政明君の車エンコ、愛育園からも、
多勢かけつけて無事救出、どちらが奉
仕だったか?
- 4)第1回スピーカーに登場した湊副知事
は時の人だけあって専ら話題は常磐・
郡山地区の新産都市指定に終始した。
郡山と仙塩地区の谷間になる県都福島
の今後については余り語らず、県北総
合開発が話題になっている現在一寸残
念であった。
- 5)広報委員会では会員へゴルフを普及さ
せるべく秋元委員長を校長に任命して
広報委員会ゴルフ教室を近々中に開校
する運びとなった。会場はオノヤ運動
具店練習場で初心者には懇切に指導に
当ることとなった。

福島青年会議所会報第2号

昭和38年9月11日
発行 福島青年会議所
(TEL 2-5412)
編集 広報委員長 秋元 純
印刷 日本五色印刷株式会社

38.7.13 (於辰巳屋食堂) 第1回委員会
開催、6時～8時30分閉会

- 副委員長、資格審議委員指名
- 月例委員会開催日決定
- 創立総会準備打合せ

38.7.27 (農協会館ホール) 総会出席

38.8.1.0 第2回委員会開催(臨時集会)
午後6時～8時半閉会

- 出席者 理事長、専務理事、池田委員長
高野、国分、鈴木、佐藤(昌)、菅野(一)、
郷、大槻、斎藤幸雄、西形、小野
- 納涼大会委員会担当模擬店について
打合せ
- 本年度主行事テーマについて検討
新産業都市指定による他都市に対して
県北地区としての今後の福島の将来性
を検討する為県当局に於て企画立案し
つつある県北地区総合開発案と共に当
委員会としてもその総合開発への指針
を見出すべく基礎調査を今年度の主目
標として取上げる事を決定した。

＜今後の行事予定＞

- 9月例会 県企画開発部長、企画開発課長
との懇談会
- 10月例会 福島民報、民友編輯局長との懇
談会
- 11月例会 日本工業立地センターの東大今
野教授との座談会

＝ 今後の日本経済の見通しについて ＝

1963. 9月例会 於 グリルミンポー

ゲストスピーカー 日本銀行福島支店長 坂上 静弘

「坂上氏はその立場上高度な視野にたつて歴史的世界的流れの中での、日本経済のきびしい動向を伝へ更に、厳密具体的な数字を呈示し、懇切に説明せられ来会者一同さらに認識を新たにした。終りに現在の硬貨不足に言及、さらに近い将来増産によりこの悩みは解消するであろうと結んだ。」

最近の日本の経済の状況判断は、大へん難しく政府も悲観的な見方をさしている、というのは国際的には核停による経済影響が

あり、国内的には貿易自由化のそれによっておこる問題である。国内問題として来年は八条国移行が実現し影響がはっきり現われて来るものと思う国際収支の問題については、戦前は日本商船隊等の貿易外収支が貿易収支をまかなっていたが商船隊等の没落によって貿易



外収支は悲観的で長期にわたって国際収支は赤字になるだろう。36年、37年、38年の貿易外収支は4億の赤字を予想出来る。

いわゆる戦前戦後の構造体質の変化により貿易外収支の赤字も貿易収支にてまかなわざるを得ない現状である。経済成長については本年2月3日の上昇速度は早かたが、5、6月は足踏み状態を続け7月は設備投資関係の上昇が、みられたが8、9月は停頓

状態にある。

経済のバロメーターである株価がわるく、卸売物価指数は8月より下げしぶってはいるが横這い状態を続ける現状である。

一般の金操りは好転していない跛行的であり、銀行券は3月より底上げで出かたが強くなっている。これは消費者物価の値上りに関係している。日銀においては間接的な操作に依って財政操作を持たず手を打ってはいる。

消費者物価の値上りは困却の極みで、これについて楽観論をはく人もいるが油断出来ない問題である。最近消費物価の値上りは、9%以上の上昇を示し、来年度も5%上昇を予測出来る。これというも需要が供給をオーバーして経済成長に対し供給度が追いつかない

からである。(消費物価上昇が労賃を更に上昇させる)

又、日本の戦後の企業はもろく自己資本が足らぬ関係上、他資本依存度が大きい上、社債もあまりのびずとにかく法人税消却限度社債市場整備を早急にやる様、政府も検討を始めている現状である。(文責・五十嵐)

ゴルフ大会

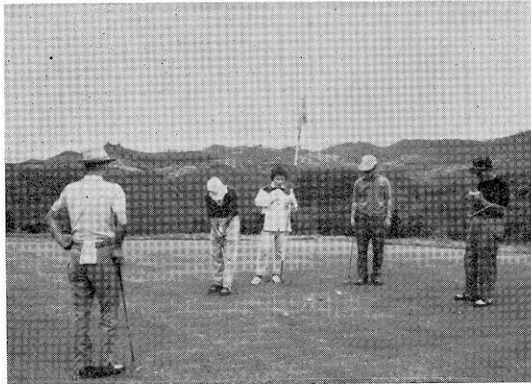
参加することが目的なのです。参加してはじめて経験出来るものです。釣大会の約半数ははじめての人なのです。これからの行事には初心者でもどしどし御参加下さい。

(会員委員会)

釣大会アルバム

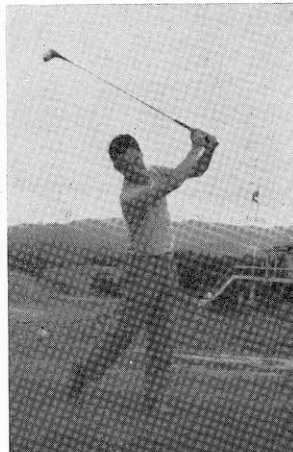
第1回理事長杯争奪ゴルフ大会

好天に恵まれた15日第1回理事長杯争奪ゴルフ大会が田沢ゴルフ場で15名の参加を得て行われた。第1回目とあって参加者の意気大いに上ったが技、伴わず珍プレーの続出。怒ったり喜んだり慰められたり、親睦ゴルフ大会は楽しい1日でした。



優勝 矢萩君(81)
1位 西坂君(83)
2位 小林君(84)

3位 倉島君(85)
BB 尾越君



係より「本人はカッコいいと思っているのです」
本人より「このフォームについて採点して下さい。悪い点は素直に直します。御注意して下さい」

9月22日朝7時半、ニッサンビル前に同好の士15名が集合目的地に向った。上山口沼にての釣開始時刻9時、開始早々引掛ったのは前宣伝とは大分食い違った目の下1寸程度の小鮎ばかりだったが時間が経つにつれ愈々佳境に入り大物もかなり水揚げされるようになった。

最大の傑作は釣大会を早々に切り上げ、上の小沼を釣店主の好意に依り水を干しあげてやった鯉掴み競走であった。釣の不漁のウップンをと、皆なズボンを高く捲り上げ、裸足で泥沼に飛び込み壮烈な死斗に挑んだ。

特筆すべき事は金子与志雄君の鯉掴みの手並みのあざやかな事と、橋本一家のうなぎとの泥だらけのデットヒートのすさまじかったのには一同腹を抱えて爆笑した事である。

最後に坪井孚夫君が本釣大会の企画、準備、進行の一切を自分の入賞をも顧みず誠心誠意、遂行して下さった事に深甚なる敬意を表します。



先づ釣糸のつけ方からの講習、釣はじめるまでの時間が長かったよう。



無念無想とまではいかないが……俗塵を忘れた姿でいいね!

釣大会入賞者氏名

1、橋本拾四郎 2、上野広志 3、坂詰泰之 4、阿部輝夫
5、橋賢 大物賞 鈴木守 プービー賞 内池宏文
最小物賞 宮村望



東邦銀行

取締役頭取 須藤仁郎

県北都市問題について

修練委員会

修練委員会第2回例会は9月18日午後6時よりピーコックに於てかねて当会議所今年度主要テーマとして議題にのせられた。県北都市問題について、県より赤井企画開発課長、佐藤観光課長補佐氏を講師として聴講した。当日は理事長を始め、副理事長、専務理事、修練委員会会員その他、多数の会員の出席を得た。

委員長挨拶の後、理事長の講師紹介につづき、直ちに講演に入り特に県の総合開発計画につき、所得倍増計画、国土総合開発計画、東北総合開発三法等との関連に於て詳細な県の計画の説明があり、特に、人口問題、工業開発、農業問題等につき、それぞれの関連性の上に立った長期計画の具体的な説明により大いに有意義なものがあった。その後、特に県北問題について、又福島市の今後の発展施策についての意見の発表があり、現在進行中の県北都市開発についての全国工業立地センターの調査については、特に当会議所の意見を卒直に具申すべき点を強調され、大いに今後の活動に対して指針となるものを与えられたと云えよう。更に佐藤氏（観光課長補佐）より県の観光開発について同様に県の計画について多数の資料を基にして詳細な説明の後、特に之まで地点開発をルート開発という新たな構想にのせた。今後の観光開発について、又スカイラインのシーズンオフ対策、スキー場の開発、



安達多良山の開発等、具体的な今後の計画について説明の後、質疑に入り特に、その中で今後県北地区と仙南地区の経済的ブロック化について、又東北自動車道の建設による福島の産業都市としての性格を今後どの様に見極めねばならぬか等、今後の重要な問題点を提起され終始談笑の中に有意義な例会を終了した（終了時間8時半）

今後当会議所の県北都市問題についての具体的な資料調査は、今回の県の説明により、ある程度構想を具体的な形に於て実現すべく進展せしめねばならず、特に、市、県との緊密な連絡の下にあらゆる資料を有効に利用してまとめてゆかねばならぬ事を痛感した次第である。

J C に何を期待するか? 《アンケート(3)》

福島県議会議員 瀬戸幸一

1 「自己研修」 発足間もない青年会議所が数々の活動をして居る事を知り嬉しく存じます。当初は組織作りが大切、現状に満足せず、より多数の青年経営者の参加が出来る様にする、これが為自己研修を主とし、地域社会から信頼される良識の青年会議所となること。

- 2 「社会奉仕」 社会に恵まれない人々も、まだ数多いことを直視し、社会奉仕の精神と仕事が大切であると信じます。青年の純情と行動力を期待します。
- 3 「県北の総合開発に協力」 県北地区の総合開発は青年の情熱も必要である。各町村との青年層の交換会を計画していただきたい。

青年会議所（JC）とは如何なる団体か

青年会議所は普通略してJCと呼ばれています。これはJUNIOR CHAMBER OF COMMERCE（ジュニア チェンバー オブ コマース）の頭文字のJCをとったものです。つまり経済活動にたずさわる青年の集いだといえます。

経済活動にたずさわる青年によってつくられる青年会議所といえますと、一般の人はすぐに青年商工会議所だと思ってしまうますが、内容的にはかなり違った性格をもっています。まず会員の資格が20才以上40才未満の品格のある青年でなければならないということが第一です。第二には、まだまだ未熟な青年であるという謙虚な立場と、更に将来の地域社会の指導者であるという自負に基いて、常に指導者訓練（Leadership Training）を基調とした個人的修練を重視している団体であるということです。第三は同じように、地域社会の発展のためには、傍観者や批判者の立場でなく積極的によりよい街づくりのために社会奉仕（Service）を行っていかうとする団体であるということです。そのためには同じ青年同志、同じ会員同志の友情（Friendship）を深め、その友情が日本各地の青年はもとより、人種や思想を越えて世界の友情につながりしかも個人的なものから人類愛的な広く大きな友情に発展することを目指している団体だともいえるわけです。

このような考え方を基礎にして、生れた青年会議所です。新しい時代に、若い経済人のために生れた新しい組織これが青年会議所という団体です。

委員会報告

＝ 総 務 ＝

日 時 昭和38年9月3日 P.M12:00
場 所 中合4階スペシャルルーム
出席者 宍戸、早坂、須藤、倉島、尾越
山田、鈴木、小林、三浦
議 題

- ① 8月例会の反省と9月例会運営の件
 - a、ゲスト席を設ける事
 - b、委員会毎の着席
 - c、食事はゲストスピーチの終了後とする
- ② 出欠フオームの件
出席◎ メーキャップ出席○ 届出欠席△ 無断欠席× の四通りとする。
- ③ 会員構成の調査に付て
特に20人～10人程度の事業所に対する身近な施策を重要視する。

＝ 会 員 ＝

会員委員会報告

日 時 昭和38年9月5日 P.M12:00
場 所 辰 巳 屋
出席者数 宮村副理事以下13名
議 案

- 1、ゴルフ大会について
- 2、釣大会について
- 3、委員会対抗野球大会について
10月14日(月) 信夫ヶ丘球場 明細は後日通知

資格審査委員会

第1回資格審査委員会を9月20日開催、委員会互選により下記の如く決定しました。
委員長 渡辺正之君 副委員長 佐藤昌次君

＝ 弘 報 ＝

10月2日ピーコックに於て委員会を開催
下記について検討

- ① J C ニュース10月号編集
- ② 福島 J C はどうあるべきか……
そろそろ方向づけるべきでないか。そしてニュースの編集方針とすべきである。
- ③ 各委員会行事がまちまちである。
各委員会間の連繋が必要
ここに三役、各委員会委員長、副委員長の合同連絡会議を提案する。
10月28日の予定 於グリンミンポー
- ④ 弘報委員会のチームワークのため毎週火曜日ゴルフの練習をする。

＝ お知らせ ＝

10 月 行 事

月 日	行 事 名、 集 会 名	場 所
10. 3	総 務 委 員 会 12:00	中 合
10. 4	全 国 大 会	金 沢
10. 4	会 員 委 員 会 12:00	辰 巳 屋
10. 7	福島根っ子の会設立総会 18:00	シノブタクシー 3 階
未	弘 報 委 員 会 12:00	ピ ー コ ッ ク
10. 11	理 事 会 6:30	富 久 楽 荘
10. 14	委員会対抗野球大会	信 夫 ヶ 丘 球 場
10. 15	資格審議委員会 18:00	愛 染
10. 15	修 練 委 員 会	ヒ ロ セ ア ン
10. 17	奉 仕 委 員 会	ヒ ロ セ ア ン 本 店
10. 19	定 時 総 会 5:00	グ リ ン 民 報

編 集 後 記

- ・ J C ニュースはどうしても各委員会の結果報告書的に勝ちな勝ちである。会員諸兄の建設的御意見御投稿を望む。
- ・ 県北都市問題についての修練委員会有意義であったよう。痛感したばかりで何んにもならない。皆んなで力を合わせて盛り上げよう。
- ・ J C に何を望むか(アンケート)を毎月のせていますが、その内容について具体的な検討をする必要もあるのではなからうか。各委員会でもう一度読直していただきたい

グリーン

◎来るべき10月の委員会対抗の野球試合に備え奉仕、総務委員会の合同練習が、19日飯坂小学校グラウンドで行われた。そのときのコボレ話

(4)総務三役合同チーム守備のとき、いるべきはずのライトがない、「ライトはどうした」「ライトはだれた」とさがすと、やおらグラウンド後方の学校玄関の柱のかけの椅子から「ここだー、ボールが来たらいくよー」と腰をあげたのが誰あらず委員会の中で一番若い K 君

(4)矢萩理事長が投手をやめさせられて(?)レフトに入った。とたんにレフトの大フライ、理事長、巨人の柴田気取りで、「オーライ」と前進、又前進ところがボールは前に理事長のいた位置にポトン、理事長思はず「万才」見ていた小学生「チェッ、俺達の方が余程うまいや」

(4)宮村副理事長、福電興業野球部監督の貫ロクで、ピッチャーを買って出、巨軀をゆるがせての投球、ところが、ボールは思う様にゆかず、超スローボール、キャッチャーのところまで漸くとどく、投球に甘い審判も止む得ず「ボール」と宣告すると、宮村君「アッ、あのきめ球のドロップをとってくれないのはひどい」は、凄いい心ぞうぶり。

◎矢萩理事長日頃の悪いクセが出てグリーンにのってピンを持たしたキャディ嬢、如何にもピチピチとしたバストを見てハットする手をとめ、"それ本ものか?" キャディ嬢すかさず"ツーバットよ"

日本 J C 綱領

吾々 Jaycee は社会的、国家的国際的な責任を自覚し志を同じうする者相集い力を併せ青年としての英知と勇氣と情熱とをもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

福島青年会議所会報第3号

昭昭38年9月8日

発 行 福島青年会議所
(TEL 2-5412)

編 集 広報委員長 秋元 純

印 刷 日本五色印刷株式会社

FUKUSHIMA J C NEWS

1963 11

＝ 各 委 員 長 は 語 る ＝



総務委員長 央戸 真一

理事長曰く、64年度のテーマを決せよと、然して又、広報委員長重ねて曰く、これをJ Cニュースに掲げんと。当生、女人、童子に強けれど、いささか文筆に弱く大いに困惑したる也、時やよし総選挙の秋とはなり世のうつろいに習いて、公約をこそ掲げたり。

答えて申す

「各位の品格を探るべしここに問題を呈示なし、而かり、然して、考え、行をなし、直観を養うべしと」

扱へんな論語は一応ここに措くとして我々J Cの仲間は何をもって集まったか、考えて見たい。極論すれば「足らざるを満たし合う」と云う事ではなかつたらうか。然らば何をもって足らざると為すか。この規範が広く深いだけに、割り切った観念で物事が律しきれず、運動は右に左に揺れ動いて定まらないかに見えるがこれも一つのテーゼを踏み切れば多様な成長を見せ乍らシンテーゼに達する訳で、先ずはテーゼを設定したい。加えて福島J Cの場合は設定後日浅く諸兄のモラルを把握しきっていない点、又把握する手法すらが確立されていない等、問題が山積している訳で、総務委員会としては先ずこの辺から手をつけたいと考えている。賢兄の品格を探るべし等と大題目を掲げたが要は品格の Informal-Organization を知って、初めて福島J Cの一応の公式組織が定まると考えて、一日も早く福島J Cとしてのモラルサーヴェイを実施し、足らざるを明らかにし。諸兄に考えるJ Cとしての資料をお届けしたい(この点東京J Cの「青年経営者の生活と意見」と題する労作に敬意を表します)

次に運動テーマとして設定された県北都市問題を通じて幅広い視野を身につけたいと思う。農工商消費者を含めた広い経済観、地方財政、産業構造のあり方、教育文化衛生税金、等の生活環境、一そしてこれらをめぐる行政の具体的な話題をピックアップして例会運営を計りたいと考えます。しかしここに一言附すれば聞く例会にあっては、知識の切売り、或はダイジェスト版に於て所謂足らざるを満たし合うと云う精神的で且情緒的な要求を満足させるには至らないと思います。そこで逆説的に云えば多分に人間味のある、且は色も豊かな賢兄を充分に活用する予定です。何卒お怠りなく御用意の程を。

つけたりを申すならば温室を飛出た、行をなすJ Cであって欲しいし、その行が着実に地についた心の喜びであって欲しいと念じて居ります。合掌



修練委員長 池田 吉三郎

年に一度か二度の映画を観たせい秦の始皇帝の言葉が未だに記憶の中に残り、自らの立場とその義務に自覚発奮せざるを得ない。

臣農民に投げた<偉大な人間は偉大な希望を抱く>文書の解釈判断は人生観により差はあれども、私は指導者(経営者)として日常忘れ得ぬ言葉と信じている。

私は青年会議所設立後、微才をも省みず指名されるままに引受けた修練委員長の席も3ヶ月を経、当会議所としてのテーマ県北都市開発問題についての基礎調査の指示を受け、委員会活動に入ったわけだが、設立総会に知事より課せられた飯坂との合併問題及び本年度年次大会に主唱された地域経済開発とJ Cの役割等についてそれぞれの例会議に出席し報告論議される度、今更乍らその重職を悟り責任を感じた。しかしただ事志に副えない行動に自訟せざるをえないが、新たな責務を痛感した。

今後は各委員の個々の立場に於いて始皇帝の言葉を借りるのではないが広義な観察で委員会の職務分掌にある指導者修練を基調とした感覚を自発的に運営面に推進させ、当面せる県北総合開発問題等についても、もっと掘下げた積極的な意見の交換、発表を行動面に啓発し合い常に広い視野に立ち、地域社会発展に寄与しうは各企業の成長に結ぶ感覚の醸成に自ら率先牽引力となるべく努力したい。

そして将来の福島を背負う青年会議所の一員として身を以て奉仕実践して短い正会員としての資格年限を全うしたいものである。

昭和38年定時総会

福島青年会議所

昭和38年度第1回定時総会は10月19日午後5時から福島市北町日産ホールに於て会員50名の出席を得て行われた。坪井副理事長の開会宣言J Cソングの斉唱に始まり、議事録署名人に小浜、鈴木義両君を選任、議事審議に入った。

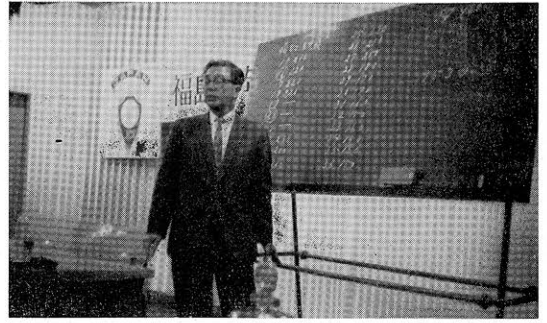
第1号議案 昭和38年度一般会計報告に関する件

第2号議案 昭和39年度運動基本方針

第3号議案 昭和38年度収支決算、39年度収支予算に関する件

第4号議案 新年度役員改選に関する件

以上の議案審議は全員異議なく、又織田理事の停年解任に伴う後任理事は溝口茂男君を満場一致で選任、全議案の審議を終り、宮村副理事長の開会宣言で第1回定時総会は5時50分終了した。◎尚今総会に於て矢萩理事長より10月4日金沢で行われた日本青年会議所全国大会に於て福島J Cが全国で第247番目のJ Cとして正式に証認された旨の報告があり、証認伝達式は明年春頃に盛大に行いたい旨の提案されました。



一 国難ともいふべき我国の求人難 一

日本商工会議所経営管理専門委員

福士敏光氏

1963年福島青年会議所定時総会終了後、同氏の講演があった。計数的に克明に説明され有意義であった。その要旨は

現在の我国の求人難の波は中小企業のみならず、大企業にまでおしよせている。

今までの人海戦術、低賃金を基盤としている我国の工業は現在の求人難と自由化貿易の影響によりその体質の改善を強く望まれている。その求人難も出生数等から7年後にその最大の危機に直面すべくそれまでに政府も大企業も中小企業も国をあげて何らかの対策を立てなければならない。そして青年のファイトある活動を期待する次第です。

県北都市問題について 10月15日 修練委員会

テーマ 地域開発の促進

ゲスト 市役所の河原田企画室長と鈴木建設部長の両氏。

①河原田企画室長よりは、基本構造と基本計画とについて詳細な話があったが、要するに行政目的は福祉の増進、向上即ち市民の所得を増やすことが目的で、関係する18市町村に呼びかけ、信夫郡、伊達郡、安達郡に、各々協議会をつくる気運に在り、除々に具体化されつつある。国勢調査の結果をみると、人口は大部分の市町村でへってあり、42万人位で30年から35年にかけての経済成長の割合に減って居るといふことは、くらしのいい関東、京浜地方に人口が移っていることである。昭和36年度で国を100%とすると、74%程度の所得で後進県といわれる所以である。今回誘致の四工場は産業構造に大きな変化を齎らすことであろう。当初の中は多少の摩サツはあっても地域開発の促進という点から見ると合理化に役立つことであろう。

② 鈴木建設課長よりは

(1)道路の問題は南北線は一応目鼻がついたが、東西の線は進歩

していない。道路関係の予算は県内で年間3億程度のうち市として3億程度が限度であろう。

(2)下水の問題は、全国で県庁所在地として下水のないところ三つか三つで、今年より漸く着手されることになった。他よりの遅れをどの様にして取り返すかが問題。

(3)四号国道では橋では一番早く出来た信夫橋と松川橋のみ残り特に伏拝の坂が一番早く出来て一番遅れた。信夫山のトンネルや伏拝の坂道より西の方を廻るバイパス道路を具体化することを考慮中。山形は仙台を通った方が早くなるが、13号国道線は福島地区の大笹生か平野あたりにインタンチェンジをつくると価値が出てくる。東北縦貫道路バイパスは、今は金がかかっても将来は有利になる。

これの二枚組の詳細地図の寄附を得ましたので、J C事務局に備付けておきますからどうぞ御らん下さい。



東邦銀行

取締役頭取 須藤仁郎

金沢大会印象記

理事 内池 宏文

「福島J.C諸君来年は皆んなで岡山大会に参加しよう。」

私は昨今、「加美の素」を使用し始めた。これは、私の若くありたいと、希う一つの表現である。人は笑うかも知れないが、私にとっては真剣な行為である。

内外共に、老化せんとしていた私も、去る7月の福島J.C発足以来、大分心臓の鼓動が変化して来たようだ。言わば、春先きのそのように……最近J.Cニュースを見たり、特に1960年日本J.C四国地区協議会発行の「J.Cは斯く考える……」を見て特に考えさせられるものがあり、やらねばならないと、一種の焦燥感をさえ感じている。そんなJ.Cも、あと1年でOBであるが、ともあれ私が永久に青年と名のつくグループに席を置けるのは無上に嬉しい事である。

そんな気持ちになっている私にとって。

ただ「FJCOB」として席を温めるに忍びず、OBらしい経験を持つ責任を感じ、大会出席と相成った次第である。

J.Cに就いて、今更私が云々すべき事は無いので、一、二、印象記と云う程ではないが、お粗末乍ら、その実際に感じたところを記して見たい。

言うまでもなく「若い我等の集い」は、修練、奉仕、友情である。

「修練」とか「奉仕」とかなると、何とか形あるものとして受け取れるが、「友情」と相成ると、仲々形あるものとしては、受け取れないものである。

それが私共には十二分に受け取れたのである。（ここに敢えて私共とダブルと使用したのは、私と愛妻とが共に全国大会に出席した事を意味しているのだが）……1人より2人が、同じ事を感じたのは我々がJ.Cに取って祝福すべき事である。

最も最近の福島に取っては、このケースが多いので大いに意を強する次第である？紙面も少いので、総会に話した事を二重記録する事も意味無いと思うから、二つ三つ大会の事実を披露して責を果したい。

◎本会議のJ.C紹介で、出席人員が多かったり、ハッピーを着たり、ハワイばりのレイを掛けたり、無言で起立して見たり、色々と趣向を凝らして、ユーモアが漂っている。中に取り分け感じさせられたのは、レスリングの勝者宜しく、愛妻の手を高く挙げて起立した人。又我が愛児を誇らしげに高々と差上げた人。

◎沖縄代表と韓国代表に、日本人形を贈呈し彼等も亦夫々記念品を贈呈した光景はほほ笑ましいものがあった。

◎我々日本J.Cは、特別決議を以て、沖縄開発の特別援助を政府に要請した。

◎韓国代表は、来年は1時間50分で行けるソール（来年の世界開催地）で会いましょうと云って帰って行った。

◎夫婦同伴者は、全行程を通じ、他のJ.Cメンバーの犠牲に於いて常に個室を提供された。（ちかっとくだけで失礼）

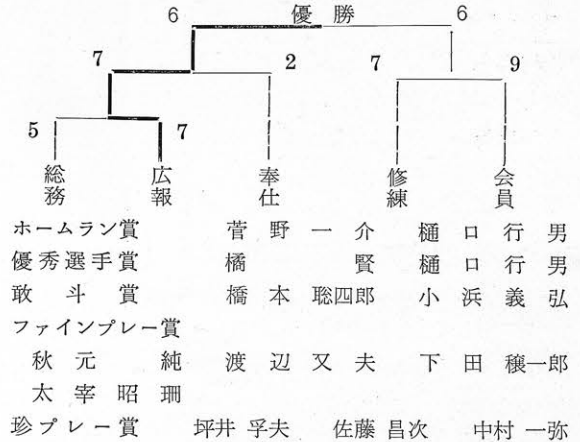
「岡山大会参加の準備は、今直ぐ始めよう。」



軟式野球大会開かる

広報委員会が初優勝

10月14日委員会対抗の野球大会が、県営グラウンドで行われた。若さ？にあふれた好プレー珍プレーが続出し、熱戦が繰りひろげられた。優勝の呼び声が高かった会員委員会は、最終戦に広報委員会と6対6の同点のまま延長9回、日没の為抽籤の結果惜敗した。対戦成績及び個人賞は次の通り。



J.Cに何を望むか <アンケート4>

福大学芸学部 平井 博

- 1、青年ほど年をとり易いものは無い事をよく認識して若さを効果的に利用すること。
- 2、青年に勉強する機会を生み出す様に心がけること。
- 3、目さきの事にばかり捕われない事。

福島婦人少年室長 朽葉 繁子

① 18才未満で各職場で働いている年少者が、福島市管内でも相当数（7000人位）います。中卒で幼なくて働かねばならないこの年少者達の労働保護と福祉の向上について、一層の御支援御協力をいただき、定時制通信教育、その他の勉学の機会も与えられて正しくすこやかに伸びてもらいたいと思っています。具体的に関係機関の行事に積極的参加、協力の外、自主的に座

談会、懇談会の開催も（労、使、その他の関係者）又レクリエーション、スポーツ、研修会の計画等お願いします。そして良い相談相手になって年令的にも最も近い兄、姉として、御活躍を期待します。

- ③ 第17回働く年の者の保護運動が11月1日から10日まで労働者の主唱で全国的に行われます。今年目標は、明るく、ゆたかな余暇生活をすすめるために、おとなの積極的な援助を一ととなっているので、余暇生活の有効な仕方と健全育成をはかることの成果が挙げられるように努力願います。
- ② 良い働く年少者のグループ作りとその活動の育成指導、援助を各面と連絡提携してお願いしたい勤労青少年ホームの建設にも努力されたい。

奉仕委員会のアドバイスで

「若い根っ子の会」福島グループ誕生

10月7日渡辺康吉君の好意により福島市栄町のシノブ自動車3階ホールに於いて待望の若い根っ子の会福島グループが設立総会を持った。

是れはかねてから奉仕委員会が、その事業の一つとして取り上げていた事で、その結成を援助して此の日を迎えたのである。

総会には郡山グループから2名のリーダーを招き、中合勤務のやまひろし君が司会となり、福島市内の病院、商店等に住みこみで働らく男女25名が集合、楽しさと若

さのあふれる中に立派な福島グループが生れた。

同会は会員相互の親睦を図り乍ら、それぞれの立場で働らく楽しさと若さを分け合って若人らしく生きぬく集いとして固く結ばれたものである。

今後同会の発展のため、我等会員は惜みなく援助を与えてほしい。尚11月15日は桜ヶ丘病院に於いて第3回の集いを催す予定である。

委員会報告

＝ 総務 ＝

10月総務委員会報告書

日時 昭和38年10月2日 P.M.12.00
～1.20

場所 中合特別室

出席者 矢戸、尾越、大竹、早坂、山田
倉島、鈴木、小林専務理事

議題

○10月例会開催の件

本委員会に於ける準備事項

①事業報告書の作成

②出席者単位の中間発表

尾越、今井両君の担当で事務局よりの資料を整理、規定率に不足の会員に対して出席勧告を行う

③総会ゲストスピーカーについて

④総会について

○11月例会スピーカーの件

10月に予定した福島民報社長飛島定城氏を第一候補とする。 以上

広 = 報 =

J Cニュースも回を重ねて今度で4回目ああしたいこうしたいと思ってもなかなか思うようにいかないものです。そろそろ福島 J Cらしい型をつくっていきたくて去る9月28日三役並びに各委員長副委員長のお集りをねがって御高説を拝聴した。

○題字について他の J C の模倣のようであるので一考ねがいたい。



○結果の集録ばかりでなく会員の意見、趣味の欄等もうけひろく会員の投稿を御願います。今回その手始めとして一面に各委員長の言葉をのせた。

○広報としては今の版を大きくして広告欄をつくり財政的にも余裕を得ると共に会員放談の欄を大きく設ける。

○毎月のアンケートについて各委員会で御検討願ひ取り上げ得るものは取上げていただき度い。

＝ 11月行事予定 ＝

11.6 12:00 総務委員会 中合
11.7 12:00 会員委員会 辰巳屋
11.9 会員委員会主催射撃大会

メ 切 日

11.12 18:00 理事会 グリル民報
11.13 18:00 11月例会 グリル民報
未定 12:00 広報委員会 ピーコック
11.14 10:00 射撃大会 大笹生射撃場
11.15 18:00 根っ子会会員と奉仕委員

会交歓会 桜ヶ丘病院
11.19 12:00 修練委員会 ヒロセアン
11.21 12:00 奉仕委員会 ヒロセアン
未定 委員長副委員長会議

編集後記

○会員の皆さんどんどん御投稿下さい。何んでもいいのです。感じたこと見たこと、こうありたいと思ったこと、毎月25日まで福ビルの事務局まで御送り下さい。匿名でも結構です。

グリーン

◎会員期待の委員会対抗親善野球大会は稀技珍打をおりまぜての大熱戦を展開したがそのこぼれ話

(1)何といっても庄巻は、当日スタンドを彩った飯坂キレイ所紅5点、しかも観戦中の紅唇からとぶ野次の痛烈なことそれとは知らず会員諸君、声がかかるたびに自分のことを、応援されていたかと思ひ、ソワソワしたりニヤニヤしたり、気取ったり、これを称して、知らぬが仏。

(2)普通野球とはグローブでボールをとるもの、グローブもそのためにあるわけだが、総務の尾越君、レフトを守ってフライがくると、両方の腕でシッカリと胸の中にだきしめてとるそれを見、スタンドの声 "あれは尾越君の悲しき習性かね！"

(3)全国大会でのエピソード

(1)福島 J C 中只一人の夫人同伴者内池君、金沢 J C の粹なはからいで理事長一行とはなれて、別な宿舎しかも、その部屋はダブルベッドさぞ、若き日を回想して、楽しい一夜と思っていると翌日夫人の晴れやかな顔に比べて、御当人はしぶい顔夫人にソッと聞いてみると "ダブルベッドだ！"なんて喜んでいたので、夜中に見事にベッドから転落したそうで、それでも内池君は "落ちたのが俺でよかった" と最後迄フェミニストぶりを発揮していました。

(2)金沢といえば、宮村副理事長の故郷がすぐ金沢の隣り宮村君盛んに金沢の通ぶりを発揮していましたが "金沢一のうまいうなぎやにつれていくと云って行くと違ううなぎやに連れて行き、出てきて、少し行くともう一軒のうなぎやがあり、それを見ると "しまった！ここのだ" などと云ってみたり金沢名物ゴリ という魚の画をみて "あれが金沢名物の魚でコキブリっていうんだよ！"なんてすました顔で、とんでもない間違いをしたりやはり"故郷は遠くにおいで思うものらしいです。

◎広報委員会第2回ゴルフ講座は樋口助教の指導で11月5日オノヤ屋上で行なわれたがその帰り丸上の50円のライスカレー皆んなでバクツキそのつければ専務理事にまわせとはチトひどい。

福島青年会議所会報第4号

昭和38年11月12日

発行 福島青年会議所

(TFL 2-5412)

編集 広報委員長 秋元 純

印刷 日本五色印刷株式会社

FUKUSHIMA J C NEWS

1963 12

— 各 委 員 長 は 語 る —



広報委員長 秋元 純

福島にJ Cを造ることになり、わたくしもそれに参画した。そこでわたくしがマスコミに関係しているものとして広報委員長と云うまことに簡単に大変な仕事を引受けざるを得なくなりました。困ったこと

である。広報活動の重大で且責任の大きいことを知っていたら程引受けたくなかったのである。

J Cの発足に参画したとは云うものの、J Cとは如何なるものであるか？又J Cとは如何にあるべきものなのか？の何たるかも知らないわたくしが、しかもそのJ Cの広報活動を受け持ったのである。無責任極まりない話である。そこで私は少しJ Cについて知識を得ることに心掛けた。各地の先輩J CのJ Cニュースを読んでみた。又日本J Cの新聞も見た。又、わたしの先輩で東京J Cのメンバーに会って話もきいてみた。何だか少しづつ解って来た様な気がして来た。解って来た様な気がして来たところで広報委員長としてその活動をしなければならない様になっていた。

綱領にあるように、J Cとは社会的、国家的、国際的な責任を自覚し志を同じうするもの相集い力を合せ、青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げようと唱っている、非常に結構な高い理念である、然しJ C会員一同は明るい豊かな社会を築くことについては志を同じうするかも知れないが、その過程に於て行われる精神的指導者訓練、指導的経済人として訓練等のJ C運動等に於ては各々考え方、物の見方はそれぞれ異っている筈である。

それはそれで良いのであって、性格、考え方が違っている者が団結してこそ幅の広い大きな力となって表われてくると思うからである。問題となるのはその団結である。わたしは初代広報委員長として広報活動は広範囲にわたらねばならないことは言をまたないが発足に当ってJ C会員の内部のコミュニケーションに力を傾注したいと考えている。内部の充分な意志の交換がなければならぬ。

そこで始めてJ Cの対外的活動も大きな力となって表われ意義を高めるものと考えている。そこで「J Cニュース」を毎月出すことにしたわけである。J Cニュースが、コミュニケーションの場として会員相互の意志の疎通、意見の交換、活動の統一の徹底に役立ち、これからの福島J Cの活発な運動のオピニオンリーダーとなり、加えて明るい豊かな社会の建設に協力出来れば幸だと思っている。



会員委員長 安藤 義光

生れてこのかた、凡そ長と云う名には縁遠い私が、福島J C初の会員委員長に指名されましたので、光栄と云うよりおもはゆい気が致します。何しろ、優柔不断、浅学

非才、と悪い点は充分身につけてはいますが、良い処はこれっぽっちもない、遊ぶ事なら何でもござあい。と云うのがせめてもの取り得？の、ダメな男でございます。

でも「何かやらなくては。」と心ばかりは焦るのですが、現在まで之と云った企画もないままに過ぎて参りました。

間もなく福島J Cも二年目を迎えるのですし、来年は、県北都市開発と云う極めて重大な意義を持つ基本方針も定まりましたし、遊んでばかりもいられません。来年こそは、この基本方針に沿った。地についた企画、運営を行っていきたくて居ります。即ち、——会員同志の親睦は勿論、他地区J Cとの交歓、懇談。県北地区（隣接地区）の青年層との交歓、懇談等々、出来る丈活発に行つて、県北都市開発の為に微力を尽したい考えで居ります。

幸い、半年を経過しました今日、会員皆様の御協力で会員委員会もようやく軌道にのって来た様でございます。私も御他聞にもれず、皆様方の御期待にお応えして、初の会員委員長として、ちょっとはまともな事もやってみたく、ケナゲな考えを起し初めた処です。よろしく、御指導、御鞭達の程をお願い致します。

日 本 J C 綱 領

吾々 Jaycee は
社会的、国家的、国際的な責任を自覚し、
志を同じうする者相集い、力を合わせ、
青年としての英知と勇気と情熱をもつて、
明るい豊かな社会を築き上げよう。

福島・飯坂合併を祝す

理事長 矢 萩 信二郎

待望の福島市、飯坂町の合併が決定し、十七万余の人口を持つ大福島がここに実現したことは、郷土発展の為にまことにおめでたく慶びに堪えません。

思えばこの合併の直接の公式の発端は、奇しくも福島J.C.の発会式での佐藤知事の祝辞でありました。あの席上で知事は、福島・飯坂合併について強い希望を表明され、新発足した我々J.C.会員に協力を要望されたのでありますがその後わたし共の微力も功を奏してか、この成功をみる事が出来たわけで、福島J.C.の一員として会員諸君と共に喜びにたえない次第であります。

今回の合併は佐藤県政の一つの目標である「広域行政」への第一歩であり、この意義ある試みが、わたし共の福島から始められたことについても、福島J.C.の一員として大いに誇りに感ずる次第であります。

東北第一の観光地「飯坂温泉」を持って益々条件を備えてきたわが福島を更に発展させるもの。それは我々J.C.会員一同の一致団結した活動であると信じてやみません。



福島・飯坂合併について両市・町長にさく

— 修 練 委 員 会 —

日時 38年11月22日 場所 グリル民報 出席者 修練委員会他37名
佐藤福島市長、紺野町長両氏の合併問題に対する基本的考え方又現在までの状況を夫々話された後修練委員会会員の各自一問ずつの質問事項について両市・町長より解答を寄せられた。

既に合併は決定されているので内容は省略するがこれを機に今後ますます福島青年会議所としても地域開発に積極的な推進運動をすすめるべきであろう。

★★★★ 東北地区協議会印象記 ★★★★★★★★★★★ 小林専務理事 ★★★★★

今年最後の東北地区協議会が盛岡で行なわれた。

盛岡の街は折からの永雨に濡れて古くて暗い。会議の開かれた「多賀本店」は古都の料亭らしくいかにも格調が高く重々しい東北各地から三々五々J.C.マンが集り旧知の顔を見つけて、がっかりと握手を交す姿は如何にもJ.C.マンらしい若々しさがみなぎり、清々しい感じであった。会議はこの会を以て任期の終る小笠原地協会長の司会で始まり最初から熱の入ったものとなった。

特に私が感じさせられたことはJ.C.の会議は外の会議とは違う素直さと明快さをもち、更に各J.C.マンは、自分の住む街に対する強い愛情をもって、会議にのぞんでいるという事であった。

各J.C.マンが各人の住む郷土を愛しその郷土から選ばれて来たという。誇りを以って論戦している姿は見えても如何にも気持が良い。

そして私は思う福島のJ.C.マンも、こういう会議で福島を愛し福島に住む誇りをもって、どしどし意見を述べる機会を多くもっ

てもらいたい——と、誰でも考えることは易しい。しかし、その考えたことを言葉にもしかも相手に充分納得させるということは、仲々難しいものである。

こうした事は唄や踊りと違い師匠のないものだけに常時トレーニングの機会をもつ事が必要ではないだろうか、余談にそれが会議も順調に進んで最後に秋田の辻来年度副会頭が「J.C.マンらしく自らの手を汚しそしてJ.C.は善い意味での影響力ある団体であれ」と結んだ言葉が印象に深かった。

今回の会議に出て会議の後の懇談会を通してみてもJ.C.に入り、それを通して数多くの友人を得、それらの人の中で、自己が、トレーニングできることは伴せであったと深く感じた。帰途の盛岡も雨であった。啄木の歌った不来方の城も北上の流れも雨にけぶって情誼の街盛岡に忘れ得ない感懐をもっておわかれした。

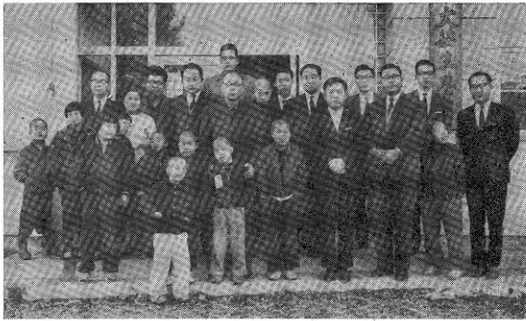


東邦銀行

取締役頭取 須藤 仁 郎

恵まれない人々への贈物

奉仕委員会



師走のあわただしい一日を割いて、奉仕委員会主催の第一回「恵まれない人々への贈物」を別記メンバーの参加を得て大笹生学園を訪ねた。

会員諸君の善意の贈物を積んで、米沢街道を走る車の中では誰しもが且つて愛育園に行った時の様な割に明るい気持であったのだが、大笹生学園に着いて、玄関に入るや、そんな気持は一度に吹っ飛んでしまった。

それは、すさまじいばかりの現実の姿であった。

参加者

矢萩理事長、坪井、宮村、今井、小林、渡辺光、渡辺正之、早坂、平井、安藤、内池、三浦

帰途車中で皆んなの顔は一樣に堅かった。何かやりきれない気持の外に、我々JCマンとして、少くともこうした人々へ「も」と光を、与える可く努力が必要だと痛感したのは、私だけではなかったと思う。

大笹生学園訪問記

内池 宏 文

矢萩理事長、渡辺奉仕委員長をはじめ、総勢13名は「愛のプレゼント」を三台の車に搭載し20日午後冬空の大笹生学園(生活保護家庭又は両親の不明な薄幸な精神薄弱児——現在百名——を収容している施設)を訪れた。車中では前回の「愛育園無料診療」などを話題に、極めてノンビリした空気であったが、現地に着くや一同啞のように黙り込んでしまった。顔面が強張っている。起ったり座ったり、必要以上に遠慮してみたり、どうもいつものJCメンバーとは違うようだ。そんな間にも変な顔が窓から覗いている。白い歯をむいている。ドア越しの廊下の雰囲気もおだやかでない。(と思った……これは後で渡辺委員長先生に伺って見ると、園児が我々の訪問を喜んでいる状態とのこと。例えば笑う代りに泣くことが喜びの表現である児もあるとか)稍あって矢萩理事長が来意を告げ渡辺委員長が「愛のプレゼント」の贈り先をここに決めた理由などを説明したらしいが小生は廊下の異様な空気が気になって上の空であった。

その内に坪井副理事長が例の(?)調子で「一日の食費は幾ら位ですか」と聞く園長先生の答に曰く

「以前は93円位でしたが、最近は大分よくなりまして111円位位についております。」

「一日ですか」と聞き返す「はい、三食に、おやつも含まっております」という具合なので何となく昨夜の忘年会が悪い事でもしたみたいなき持になった頃、小林専務気を取り直して

「色々お困りのことも多いと思いますが、その中でも一番お困りなのは何でしょうか」

答「困らないことは一つもありません。やることを為すこと困ったことばかりです。毎日が子供達との根気比べです。しかし私達はこの子供達に、もし社会に復帰出来る素質が一つでも潜在しているとすれば、何年かかってもそれを見出してやって社会に送り出したいと努力しております」と

何だか目頭が熱くなる思いで、園長先生が熱心に細部の説明を

して下さるのだが、どうもいたたまれない様な感じになってくるので、園長先生の推めて下さるお茶をお断りし、園内を見学させてもらうため廊下に出た。

園児がぞろぞろついてくる。私は悪いけれども皆んなの真中辺を歩かせて頂いた。どうも後尾を歩いて園児と手を継いで歩いて見る気にはなれなかった。(この点深く反省し修養を積まなければと思っております)

一番驚いたのは洗濯物で見事な満艦飾である。この洗濯物だけでも大変だと益々頭の下る思いがする。大半が夜尿症であること、百人もの園児が毎日泥んこになるのだから無理もない。この点我々が衣類を選んだのは適当であったと、いささかこの点だけは頭の中を調整することが出来た。

しかしあの百名もの普通でない子供達の世話をしている職員さんの苦勞は、とても常人業とは思はれない。何か宗教家のような気持でもなければ出来ないのではないかとさえ思はれる。この次はこの職員さん達を励まし慰さめなければならないとつくづく敬意を表した次第である。

帰路小児科の渡辺先生がこんなことを話していた。

「本当に可憐に、あの子供達には何の罪もないのに、全部親の責任なのだ」と

又小林専務は

「あの様な子供が家庭内におったらどうなんだろう」と

それにしても本当に今日はいい体験をしたと思う。我々には未だ現実の社会を自分の目で確かめるということが少なすぎるのではないだろうか。

私は叫びたい。

「JCは先づ現実を探究すべきである」と、その中に自ら我々の道は開かれているのではないだろうか。

稿をおくに当って、喜んで記念撮影に入った園児達の顔々が眼前に彷彿として、改めてあの子達に幸あれと祈る次第である。

J C に 何 を 望 む か

藤 井 民 治

1. 国内観光客の市内誘致策

「スカイライン→飯坂」の観光ルートの場合、福島駅が経由となるが、その際市内の中心部を起点とした輸送体型をととのえ、観光客の誘致を図りたい。(バス路線の市内う回など)

2. 市内観光地(信夫文相掬、岩谷観音など)の開発及び宣伝対策

3. 福島市商店街の総合的発展策

(イ) 商店街の整備及び造成(共同店舗の育成、共同事業の指導)

(ロ) 購買人口の確保周辺市町村(二本松米沢白石)の購買客の確保

(ハ) その他

(福島市商店街連合会会長)

第3回若い根っ子の会福島支部集会



ズンズンのびてく、ゆめがあら、若い根っ子の会も11月15日楽しい一夜の集いを催した。

桜ヶ丘病院院長渡部光君の好意によってその日同病院講議室を開放して20名の若い根っ子の会々員が集合。

先づ、当会議所会員と「経営者に何を望むか」をテーマに活潑な意見が取りかわされた。

その後おいしいも汁を賞味し乍ら音楽の集いに入り目頃の

苦しいことどもを忘れ一時をすごした。

この日出席した八島副理事長からもげき励の言葉を得たが、彼等は大いに吾が会議所会員の指導と援助を望んでいるので、諸君の惜しめない後援を願うこと切である。

委員報告

＝ 総務 ＝

日時 昭和38年12月4日 P.M.1200
場所 中合
出席者 穴戸、尾越、山田、倉島、須藤、早坂、鈴木、小林専務理事、坪井副理事長、三浦書記

- 12月例会ゲストの件
- 1月例会ゲストの件
- 副委員長選任の件
尾越副委員長停年に伴う後任として鈴木義夫君を選任。
- 今年度表彰単取得者に関する件

- 12月例会出席オザグバーの件
- 予算に関する件

＝ 修練 ＝

日時 昭和38年11月19日
場所 広瀬庵本店 午後6時
出席者 池田、高野、国分、金子、鈴木、郷、下田、小野、佐久間

- 議題
- 委員会活動の基本方針再検討
 - 修練委員会担当の副理事長について(理事會に提案する件特に経済活動委員会の行事を主として)
 - 県北総合開発資料調査の爲の今後の活動の基本方針検討

新入会員紹介

かねてより、県案でありました。新規申込会員に就いて、理事会及び資格審査委員会、夫々の立場より、慎重に検討を続けて来ましたが、略々決定を見るに到り、12月9日(月)理事4名、審査委員5名、から

成る会議所側と、新規加入申込者10名との間に最終的な懇談会を持ち、明年度よりの加入の決定を見るに到りました。

猶新会員の氏名、年令等を御紹介致します。

氏名	生年月日	勤務先	役名	電話	所属
鍋瀧 千代雄	昭8.8.19	草野文房具店	取締役	電(2)5181	(総)
大槻 潤一	昭12.4.21	福島テレビ・サービス	専務	電(2)6258	(総)
朝倉 利浩	昭4.2.12	朝倉会計事務所	専務	電(2)2526	(修)
村田 博	昭6.1.2	福島日赤眼科	所長	電(2)6101	(奉)
斎藤 富士雄	大15.9.23	福島日赤外科	部長	電(2)6101	(奉)
藤井 謙一	昭6.2.11	加賀屋百貨店	専務	電(2)4352	(広)
三浦 康司	昭8.9.30	秋田銀行福島支店	専務	電(2)4176	(総)
渡辺 元治	昭2.1.1	浦住運輸会社	社長	電(2)4293	(奉)
渡辺 十志夫	昭9.11.16	渡辺ダイヤ	専務	電(2)3733	(総)
伊豆 精一	大14.2.4	福島相互銀行本店	専務	電(2)4171	(総)

尚来年度より理事の所属が下記の通り変わりました。

奉仕委員会より～会員委員会へ溝口茂男 奉仕委員会より～広報委員会へ内池宏文

【会員消息】

菅野英輔君(広報委員会)のお父さんが12月21日逝去されました。

リレー随筆として各委員会毎各一名づつ毎月どんなことでもいい記事をのせていただきます。

【編集後記】

J.C. ニュース1964年より規格を変えやや大きな判にします。題字も変更する予定、斬新なデザインなどありましたら御教示願ひ度い。
・規格変更に従って新企画として「J.C.

福島青年会議所会報第5号

昭昭38年12月25日

発行 福島青年会議所 (TEL2-5412)
編集 広報委員長 秋元 純
印刷 日本五色印刷株式会社

青年会議所の入会金等の法人税等の取扱について

— 国税庁通達 —

社団法人日本青年会議所の会員たる各地青年会議所に対する入会金等の法人税等の取扱を下記のとおり定めたから、昭和38年1月1日以降支出するものから、これにより取り扱われたい。

なお、昭和36年7月17日付直所2-82直所1-181「青年会議所の入会金等の取扱について」通達は経過的に取り扱う場合のほか、廃止されたものと了承されたい。

(趣旨)
従来各地青年会議所は会員個人の修練を目的としたものであったため法人が入会金等を負担した場合には、会員に対する給付として取り扱うこととされていたのであるが、最近では青年社員の研修の場としての職能的訓練を中心として活動している実情にあり、またこれによって定款の変更が行なわれたことにかんがみ、法人の業務遂行に必要な経費と認め取り扱うことを適当とするに至ったから、その取扱を改めるものである。

記

1. 法人が、正会員である法人会員として青年会議所に入会している場合において、その入会金および經常会費を支出したときは、これをその支出の日を含む事業年度の損金に算入する。
2. 法人が、正会員としては個人だけしか認められてない青年会議所に業務の必要上自己の役員または従業員を入会させ、その入会金または經常会費を負担したときは、その負担した日を含む事業年度の損金に算入する。
3. 法人が、正会員として法人会員と個人会員との双方の会員制度のある青年会議所の個人会員として入会している自己の役員または従業員のために、その入会金または会費その他の費用を負担したときは、当該負担した金額はその会員に対する給付として取り扱う。
4. 法人が青年会議所の正会員となつていない場合(個人会員だけしか認められない青年会議所に自己の役員または従業員を入会させている場合を含む)において、特別会費その他の費用(入会金および經常会費を除く)を納付したまたは負担したときは、それらの費用の性質に応じ、交際費等、会員(法人会員の場合は派遣されている役員または従業員)に対する給付、その他の経費等として取り扱う。
5. 法人が、青年会議所の特別会員である自己の役員または従業員のために、その入会金または会費その他の費用を負担したときは、その負担した金額は、その特別会員に対する給付として取り扱う。
6. 法人が青年会議所の賛助会員となっている場合においてその入会金または会費その他の費用を納付したときは、原則として寄付金として取り扱う。
7. 正会員として法人会員と個人会員の相方の会員制度のある青年会議所の個人会員でこの通達の日付けの日前に入会した者の入会金または經常会費のうち、昭和38年1月1日以後この通達の日付けの日から6ヵ月を経過した日の前日までの間に支払われるものについては、3にかかわらず2に準じて取り扱うことができる。